

2024年3月29日

各位

株式会社 北海道銀行

株式会社ボードと 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、SDGsへの取り組みの一環として、株式会社ボード（代表取締役 岡崎 豊）と、ほくほくサステナブルファイナンス「ポジティブ・インパクト・ファイナンス型」※の契約を締結しましたので、お知らせいたします。

※企業活動が経済・社会・環境にもたらす影響を包括的に分析し、特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取り組みを継続的に支援する融資。

記

1. 契約企業の概要

企業名	株式会社ボード		
所在地	北海道北見市東相内町 663 番地 4	設立	1998年6月
資本金	1,000万円	売上高	10億円 (2023年8月期)
企業概要	当社は、1998年に自動車解体業として開業後、主に新車や中古車の販売および買取りのほか、廃車の再資源化、使用不可能なパーツを原料化して専門業者に卸しています。自社の事業を通じて「3R」と呼ばれる「Reduce・Reuse・Recycle」を徹底することにより、循環型社会の形成を目指しております。 また、近年ではディーゼル車用尿素水 AdBlue®（以下、アドブルー）の製造・販売も行っております。ディーゼルエンジン車が排出する窒素酸化物を窒素と水に分解し無害化することを目的とした同製品の製造・販売を通じ、大気汚染の軽減に対する貢献も意識した事業活動を実践しております。		

2. 本ファイナンスの概要

実行日	2024年3月29日（金）
資金使途	事業資金

3. 株式会社ボードの取り組み（一例です。詳細は「評価書」をご参照ください）

～環境配慮に向けた取り組み～

インパクトの種類	ポジティブインパクト（PI）の向上、 ネガティブインパクト（NI）の低減
インパクト ・カテゴリ	PI：＜移動手段＞、＜大気＞、＜資源強度＞、＜廃棄物＞ NI：＜気候の安定性＞、＜資源強度＞、＜廃棄物＞

<p>影響を与える SDGs の目標</p>	 																
<p>内容・対応方針</p>	<p>リサイクルの促進及び環境配慮に向けた取組み</p>																
<p>毎年モニタリング する目標とK P I</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車リサイクル関連事業の促進 ・アドブルーの製造・販売促進 ・DX化推進により、紙使用量の削減 ・電力使用量の削減 <p>【K P I】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車リサイクル関連事業の目標 <table border="1" data-bbox="459 763 1410 1070"> <tr> <td>車輛の買取台数</td> <td>3,200台 / 2022年度</td> <td>→</td> <td>6,000台 / 2030年度</td> </tr> <tr> <td>リユース部品の生産個数</td> <td>5,500個 / 2022年度</td> <td>→</td> <td>8,250個 / 2030年度</td> </tr> <tr> <td>リユース部品の販売個数</td> <td>3,200個 / 2022年度</td> <td>→</td> <td>6,000個 / 2030年度</td> </tr> <tr> <td>金属・非鉄金属原料の販売</td> <td>2,018 t / 2022年度</td> <td>→</td> <td>4,000 t / 2030年度</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・アドブルー製造・販売目標 2,903,946ℓ / 2022年度 → 7,000,000ℓ / 2030年度 ・紙使用量を2030年度までに2022年度対比60%削減 ・二酸化炭素削減量を2030年度までに2022年度比50%削減 	車輛の買取台数	3,200台 / 2022年度	→	6,000台 / 2030年度	リユース部品の生産個数	5,500個 / 2022年度	→	8,250個 / 2030年度	リユース部品の販売個数	3,200個 / 2022年度	→	6,000個 / 2030年度	金属・非鉄金属原料の販売	2,018 t / 2022年度	→	4,000 t / 2030年度
車輛の買取台数	3,200台 / 2022年度	→	6,000台 / 2030年度														
リユース部品の生産個数	5,500個 / 2022年度	→	8,250個 / 2030年度														
リユース部品の販売個数	3,200個 / 2022年度	→	6,000個 / 2030年度														
金属・非鉄金属原料の販売	2,018 t / 2022年度	→	4,000 t / 2030年度														

4. その他

<p>インパクト評価</p>	<p>本ローンは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が公表しているポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に則り、株式会社道銀地域総合研究所が株式会社ボードの包括的なインパクト分析を行い、評価しました。また、株式会社日本格付研究所（JCR）から第三者意見（外部レビュー）を取得し、金融原則への適合性の確認と評価の透明性を確保しています。</p>
<p>モニタリング</p>	<p>当行は、インパクト評価で特定した株式会社ボードのK P Iについて、モニタリングを行います。</p>

5. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
北海道銀行 広報CSR室 坂野 TEL 011-233-1005